

1. 環境部

(1) 「自立・分散型エネルギー導入地域づくりについて」

エネルギー自給能力を高め、地域防災機能を強化できるよう、自家消費型風力発電を中央区老人憩いの家なぎさ荘隣接地に設置をするとともに、北区海辺の森地内における売電型風力発電にかかる風況調査等を引き続き実施する。

(2) 「未利用地を活用したメガソーラーの誘致について」

未利用地となっている市有地を有効活用し、公募によるメガソーラー事業者の誘致を行う。

(3) 「鳥獣等保護について」

傷病鳥獣の保護や必要に応じて有害鳥獣の駆除を拡大するほか、有害鳥獣対策検討会の結果に基づき、野生鳥獣による生活環境被害への効果的な対策を検証するため、モデル事業を実施する。

(4) 「ごみ処理手数料の市民還元事業および分別の徹底等制度の周知について」

新ごみ減量制度の開始から 5 年が経過し、改めて 10 種 13 分別を再確認するとともに、特に有害物質を含むごみの分別徹底を図るため「ごみ分別百科事典」を全戸配布する。

また、家庭系ごみの更なる減量とリサイクルを推進するため、小型家電のリサイクルやマイボトルキャンペーンを拡充するなど、市民に対する 3R 意識の啓発事業を強化する。

2. 都市政策部

(1) 「新たな交通推進事業について」

新たな交通システム（BRT）の導入をめざし、連節バス購入の手続きや市役所など交通結節点の設計、情報案内システムやトータルデザインの検討などを行うほか、バス路線の再編や BRT 運行計画の検討に取り組むとともに、市民の皆様への広報活動やシンポジウムなどを行い、合意形成を図る。

(2) 「生活交通確保維持・強化、交通システム高度化事業について」

日常生活において大切な移動手段であるバス交通を確保・維持するため、区のまちづくりに資する区バスの運行、地域住民が主体となって運営する住民バスへの支援などのほか、地域の実情や特性に応じ、デマンド交通などの社会実験を行いながら、区毎に生活交通の強化のための再構築を積極的に取り組む。

また、都心アクセスの強化に向けて、JR 越後線内野駅以西における増便をはじめとした社会実験、南区方面バスの利便性向上に努める。

さらに土休日の新潟駅～古町間において IC カードでのバス運賃 100 円や、食育・花育センターへのバス利便性強化によるまちなか交通の改善のほか、エコ通勤チャレンジサイトの拡充や高齢者のおでかけ支援実験といった公共交通の利用、健幸都市づくりを推進し、移動しやすいまちづくりの実現を目指す。

3. 建築部

「市営住宅の整備について」

市営住宅における子育て支援の拡充強化の一環として、江南区の亀田駅東地区に子育て世帯向け住宅の建設を行う。併せてシルバーハウジングを建設し、異なる世代が居住することで良好なコミュニティの形成を図る。

4. 土木部

「除雪対策の充実について」

道路除雪については、国などの関係機関と一層連携を図りながら、効果的な除雪や融雪剤散布などの対策を行い、冬期間の交通の確保に努める。